

多くの人で賑わった昨年の映画祭から

バリアフリー映画祭開催

シティ・ライツ 24日、江戸東京博物館

目不自由な人たちと一緒
に、映画を楽しむ環境づくりを進めているボランティア団体「シティ・ライツ」が24日、東京・江戸東京博物館大ホールで「City Lights 映画祭」を開催する。

第5回を迎える今回の映画祭のテーマは「思い出そう、大切なこと。」で、障がいを超えて共感し合えるバリアフリーの映画観賞会を目指す。上映されるのは『素晴らしき哉、人生』（午前11時5分か

藤中治の歌謡ジヨッキ



と思わせる妖しげな空気もあるけれど、節度と距離を保

東京・山の手のバー。中年も過ぎたであろうカップルがグラスを傾けながら甘く囁きあっている。夫婦ではない。かといって恋人同士でもなさそう。

「情事と無縁な大人」といいながら「声の調子で心の裏まで読める」二人。その昔は？



八代遼紀 & 小林旭

「クレオパトラの夢」
エン・ジャズ。バド・パウエル1958年の名作「クレオパトラの夢」だ。

「そして」も「それから」も、ない。バックで流れているのはモダン・ジャズ。バド・パウエル1958年の名作「クレオパトラの夢」だ。

小林、八代が「第三の愛」の歌

5月末発売、小林旭八代遼紀によるデュエット曲「クレオパトラの夢」【写真】はこう展開していく。

今さら驚くほどでもないデュエット企画だが、芸歴56年と73歳と41年と61歳の大ベテラン・コンビともなると話は別。ひよっとしたら本当に……

ななどと思わせるほど気が合っている。事実、この歌も本人たちからのオファーで進行、所属のテイ・チク、コロムビアの垣根を越えて両社からの発売になった。

掛け合い、ユニゾン。

ラテン・タッチのサウンドにのった小林のハイトーンと八代のハスキーな低音が会話のように聴こえてきたのは、歌を越えた歌になっていくからだろう。「誰でも人ははたかに帰る……」力強く歌い上げたクロージングがこの歌のコンセプト。

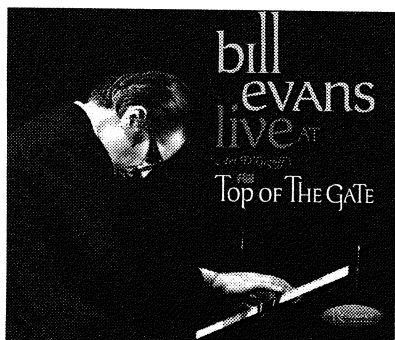
スタッフの一人は「元氣と遊びを忘れてしまった大人たちへの応援歌」と建前を強調したが、夫婦演歌と不倫演歌の間で探った「第三の愛」の歌であることもまた事実だろう。

ら」と『奇跡』（午後2時15分から）の2作品。アメリカ映画の『素晴らしき哉』は「生まれてこなければよかった」と嘆く主人公の前に天使が現れ、主人公が生まれなかつた場合の世界を見せ、自分が歩んできた人生の素晴らしさを感じさせるストーリー。日本映画『奇跡』は心が離れたしまった家族の絆を取り戻

未発表音源を収録した珠玉の作品

キングレコード

ジャズ・ピアニストの巨人、ビル・エヴァンスの未発表音源を収録したアルバム「ライブ・アット・トップ・オブ・ザ・ゲイト」【写真】がこのほど、キングレコードからリリースされた。



同作は、ビル・エヴァンス・トリオが1968年10月に、ニューヨークの「トップ・オブ・ザ・ゲイト」に出演したライブの模様を収録。曲順もライブで演奏されたそのままを複製させた珠玉の一品だ。

リリースズム（叙情性）あふれる知的なプレイで、没後から30年余り経った今もお、多くのファンから愛されているビル・エヴァンス。

40年以上前の音源にもかかわらず、それを全く感じさせない音質の良さと、実際のライブ現場に居合わせたような雰囲気も楽しませてくれる。全17曲。CDの価格は3200円（税込み）。

ために奮闘する、小学生の兄弟が主人公の感動物語。2作品とも音声ガイド付き。

江戸東京博物館はJR両国駅下車。前売り鑑賞券は2作品セット券1500円（1作品は800円）。

お問い合わせVシティ・ライツ（☎03・3917・1995）